

平成 30 年度 市民意見交換会（総務生活常任委員会）

《平成30年7月9日》

意見交換の相手団体：たつの市嘱託職員・臨時職員

意見交換会のテーマ：会計年度任用職員制度について

主な意見（一部抜粋）

- 会計年度任用職員制度が始まりフルタイム職員が増えると、どうしても人件費が増加するため、市はフルタイム職員ではなくパートタイム職員に置き換えていくのではないかという懸念がある。
- 制度が始まる2020年4月に全員一度リセットされるのではという不安や、今、働いている者が全員この制度の職員になれるのかという不安、また、更新毎に競争試験などが導入されるのではという不安がある。
- 現状、ほぼ正規職員と変わらない仕事をしており、職種によれば正規職員よりも仕事を任せられている方もいらっしゃると思う。会計年度任用職員になれば、私たちは良くなると信じており、今の条件よりも上を望みたいし、今の条件を下回ることは絶対にしてほしくないというのが一番の思いである。
- この度の法改正については、『本来は常勤職員が担う業務を担う職員については、今後も任用の在り方の検討を続ける。』と国会で付帯決議がなされており、「会計年度任用職員としたから待遇が良くなった。」ということではなく、「本来その人たちは正規職員じゃなくてもよいのか。」ということを考えないといけないとされていることを伝えたい。

